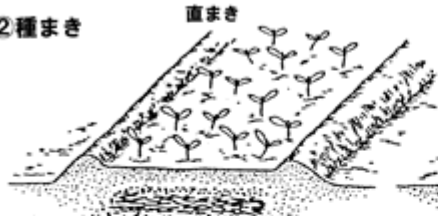


シュンギクの栽培方法

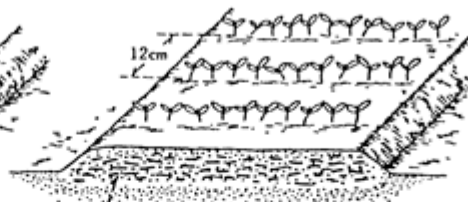
冷涼な気候を好むが、ホウレンソウ、コマツナなどに比べると低温には弱い方で厳寒期には葉先に寒害をうける。

①畑の準備 畑全体に石灰と完熟堆肥をばらまいて15～20cmの深さによく耕す

②種まき



元肥の堆肥、化成肥料はまき溝の下に入れ、5～6cm土をかけて種をまく



元肥の堆肥、化成肥料はベッド全面にばらまき、15cmの深さにうないこんでから12cm間隔のまき溝をつけて種をまく

元肥の量

(1アール当たり)
堆肥 200kg
化成 8kg

苗づくり



育苗箱に種をすじまきする



本葉1枚のころ苗床に9×9cmに移植する

本葉5～6枚のとき、本畑のベッドへ15×15cmに植えつける

③間引き



本葉2枚のころ3～4cm間隔にする



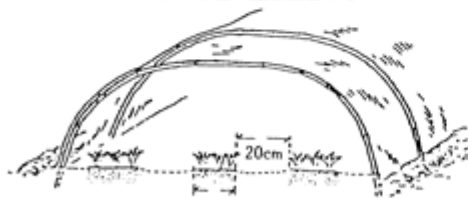
本葉7～8枚、草丈10cmぐらいのころ5～6cm間隔にする

つみとりの場合は10cmぐらいに

④追肥



うね間に化成肥料をばらまき、クワで軽く土と混合する



トンネル栽培は1.8m幅のビニールを用い、3条まきとする

⑤収穫



草丈12cmぐらいのころ、本葉4～5枚を残して、その上をつみとり、収穫する↓



わき芽が10cmぐらいに伸びたころに再び収穫し、以後これを繰り返す

収穫

間引きながら随時利用し草丈15cmぐらいになれば全部抜きとる一番質沢な食べ方は10cm位のとき収穫し、さっと熱を加えて食べる方法疎植にして株元から何本にも分かれているわき枝を元の方3～4葉残して指先でつみとる